

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日:2022年5月13日

所属学部／研究科・学科／専攻	経営学部／経営学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア大学バークレー校 現地言語: 英語
留学期間	2021年8月～2022年5月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	ビジネス学部(Haas School of Business) <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2022年5月12日
明治大学卒業予定年	2023年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月中旬～12月中旬 2学期:1月上旬～5月中旬 3学期: 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	45,000
創立年	1868

留学費用項目	現地通貨 (米ドル)	円	備考
授業料	37540	424万円	奨学金 200万円除いた金額
宿舍費	17430	200万円	レギュラーダブル・アイハウス
食費	2000	20万円	寮に含まれている食事代とは別の外食費。
図書費	200	2.2万円	教科書代
学用品費	100	1.2万円	
携帯・インターネット費	500	5.5万円	
現地交通費	700	7.5万円	Uber代など(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費	2660	28万円	形態:バークレーと明治大学の海外保険費合計
渡航旅費	2500	27万円	
ビザ申請費	350	4万円	
雑費	100	1.2万円	寮のコインランドリー
その他		円	
その他		円	
合計	64100	700万円	休み期間の旅行費は含まれておりません。

渡航関連

渡航経路
往路 出発地:羽田(HND) 目的地:サンフランシスコ(SFO) 経由地:なし 復路 出発地:サンフランシスコ(SFO) 目的地:成田(NRT) 経由地:ロサンゼルス(LAX)
渡航費用
①往復チケットを購入した場合 航空会社: _____ 料金: _____ ②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: ANA 料金: \$1,300 復路 航空会社: シンガポール航空 料金: \$600 ∴合計: _____
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: _____) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: Expedia) <input type="checkbox"/> その他(_____)
滞在形態関連
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など) <input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前: International House) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態 <input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 1)
3)共有部分 <input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4)住居を探した方法: 大学のホームページ
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス) とても小さい部屋に2人で住んでいたため(レギュラーダブル)、人との共同生活が苦手な人は大きな部屋にするか、The Berk, Standard を選択することが無難だと思います。
現地情報
1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所) <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所: _____)
2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等) <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等: _____)
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか? 事件のお知らせが WarnMe というメールアドレスから送られてくるため、そこから確認。犯罪に巻き込まれたことはありません。
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。) 寮のインターネット接続が不安定で ZOOM などビデオオンにすると、切れてしまうことが多々あった。そのため、電話でパーソナルホットスポットや有線 WIFI など活用した方が安全であると思った。
5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。) 現地に銀行口座を開けて(Bank of America)、Venmo や Zelle と呼ばれる送金アプリでまとめてクレカで払ったときなど友達に口座に送金してもらってやりくりしていた。
6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。 寮であれば、料理ができないので簡単に食べられる味噌汁、カップラーメン、パスタソース、ふりかけなど持って行って時間が無い日には食べていました。あとは、寝具(シーツや枕カバー)や常備薬を持っていくと無難です。
7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。) 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った。(メールに支払い期限が送られてくるため要チェック)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
27 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか？ あり。現地のビジネス学部生→その他の学部所属生徒が優先的に履修できる。	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Thriving at Haas and Beyond	Haas とその先の繁栄
科目設置学部・研究科	ビジネス学部(以下 Haas)
履修期間	9/10~12/18
単位数	1
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	オンライン(時々対面授業) (チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 120 分が 13 回
担当教授	Helena Weiss-Duman(授業責任者)を始めとして、色々な企業の社員の方々が話しにいらっしゃる。
授業内容	レクチャースタイルでシリコンバレーを始めとする社員さんのお話を聞く授業。本来は、企業に実際訪問するスタイルだがコロナの影響でオンラインによる授業であった。
試験・課題など	期末テストとして、1学期分全部の企業訪問の感想を一社ずつ 200 字ずつ(合計 14 社分ほど)提出する。
感想を自由記入	このプログラムに参加した目的がこの授業であったが、コロナウィルスの影響でほとんどの企業訪問がオンラインでの形での開催となってしまった。本来であれば、バークレー近郊にあるシリコンバレーにある企業の多くはプログラム学生で訪れることができる(グーグル、フェイスブック、アマゾン等)。このようなオンラインの形でもなお、有意義な授業ではあった。有名企業で働く方々が日ごろ何を考え意識して働いているのかがわかった。例えば、グーグル社であれば、常に多様性と包摂性の環境下で働いていることがモチベーションの持続になっていたことなどを語ってくれた。



履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Opportunity Recognition: Technology and Entrepreneurship in Silicon Valley		マーケティング市場機会:シリコンバレーの技術と起業	
科目設置学部・研究科	Haas		
履修期間	8/23~11/29		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	対面(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 180 分が 14 回		
担当教授	Drew Isaacs		
授業内容	シリコンバレーをはじめとする様々な有名企業(衰退してしまった日系企業も含む)のケーススタディを用いてディスカッションを展開する。どのような成り立ちで企業が方針を進め、戦略をとったかを話し合う。その戦略や方針を進めたことが、正しい判断であったか否かをクラス全員でディスカッションを通して吟味する。		
試験・課題など	試験は、年に3回ほど個人のエッセイ(約6~8ページ)を提出。その他にも、課題としては時折異なるが30ページほどのケーススタディを読んで授業の自ディスカッションに備える。		
感想を自由記入	毎週ケーススタディを読む必要があるため、破格の課題の量である。読まなければ、3時間の授業の内容に全くついていくことができず、グループワークでも恥ずかしい思いをしてしまうため課題をきっちりこなす必要がある。この授業は、このプログラムに参加する上で必須科目となっているため全員履修する。私は、この授業のケーススタディやディスカッションを経て、様々な企業の経営戦略や方針を理解することができたため大変有意義な授業であったと感じた。		
履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Pricing		価格戦略	
科目設置学部・研究科	Haas		
履修期間	8/26~12/28		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	対面(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 180 分が 15 回		
担当教授	Wasim Azhar		
授業内容	授業の名の通り価格戦略を学ぶ。さまざまな企業のとる価格戦略や一般的にビジネスの現場で活用されている戦略をケーススタディを通して学ぶ。たとえば、企業が消費者に向けてサブスクリプションを解除されず継続的に使用してもらうために取っている価格戦略など興味深いものであった。他にも、企業のケーススタディを用いて、その企業が取る価格戦略を学んだり適正価格を自分で考えることなどおこなった。		
試験・課題など	3回のグループ課題をエッセイ 10 ページほど提出する必要がある。他にも期末には個人で作成したエッセイを提出。課題としては、毎週のディスカッションをおこなうためのケーススタディを読むことである。		
感想を自由記入	さまざまな企業の価格戦略を学ぶことができて非常に興味深かった。消費者としての視点や、企業側としてどのような方策を取ることが利益に繋がるかなど、日常生活で考えたことがなかったので面白かった。ただ、この教授の授業は板書ができないほど授業スピードが速いため新しい発見などをメモする形で良いと思う。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Leadership Communication		リーダーシップ・コミュニケーション	
科目設置学部・研究科	Haas		
履修期間	8/31~10/19		
単位数	1		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	対面(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に120分が8回		
担当教授	Jennifer Casleshu		
授業内容	ビジネスをおこなううえで、リーダーとして活躍するために必要な資質であるプレゼンや発信力をつける授業。クラス全体の前で、革新的な提案や、将来どのような人になりたいかをプレゼンテーションした。プレゼンテーション後には、必ず先生やクラスメイトからフィードバックがもらえるため改善点を探ることができる。		
試験・課題など	課題は多くなかったが、授業期間が短いため毎回授業ではプレゼンや発表をおこなっていた。大きなプレゼン回数としては2回だが、毎回授業では何らかの形で発言しなければならない。		
感想を自由記入	この授業が一番緊張するものであった。もともと、大人数の前で何かをすることは得意ではないため、踊ったり発表したりが非常に苦痛であった。中間発表のプレゼンテーションでは、大人数の前での発表に頭が真っ白になってしまい上手く発表することができなかった。しかし、回数を重ねるたびに慣れる感覚があり、期末のプレゼンではやり遂げることができた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
High Technology Marketing Management		最先端技術のマーケティング・マネジメント	
科目設置学部・研究科	Haas		
履修期間	9/20~11/29		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	対面(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に210分が10回		
担当教授	Peter Wilton		
授業内容	少人数のチームに振り分けられ、実際に商品を売り出す戦略を考える。価格設定やさまざまな戦略を自分たちで考えて、チームが取った決断に左右されて順位が発表される。どの顧客をターゲットにするか、何をマーケティングの手法にするかを考えるゲームである。		
試験・課題など	中間には、先生にチームの商品の戦略をエッセイにまとめて提出する。期末テストには、その案を深掘した内容をプレゼンやエッセイにまとめて提出。評価としては、チームの選択に一貫性があるか有効的であったかが評価される。		
感想を自由記入	個人的に一番面白い授業であった。実際に商品を売り出す感覚をゲームで味わうことができる。各チーム2つの製品が与えられ、その業界内で一位をとるために試行錯誤する。私たちのチームは、業界内で2位で終わったものの戦略の一貫性が評価されてクラスで1位の評価を得ることができた。マーケティングシミュレーションゲームは、経営者の視点を養うことができるため大変面白かった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
International Marketing		グローバル・マーケティング
科目設置学部・研究科	Haas	
履修期間	1/19~5/4	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	対面(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に180分が14回	
担当教授	Wasim Azhar	
授業内容	Pricingの担当教授と同じである。そのため、授業の内容も若干似ている。様々な企業のケーススタディ(毎授業異なる企業)からその企業の経営戦略を解剖する。その企業が、どのような目的で、どのような経営戦略を取っているかを過去の事例から学ぶ。	
試験・課題など	Pricingの授業と同様で、試験はない。3回ほどのエッセイをグループで提出し、期末には個人で長いエッセイを1回書かされる。難しいことは特段ないが、毎回の授業の取り扱う内容を事前にケーススタディを読んでいかに理解できるかが重要であるため、予習が命である。	
感想を自由記入	パークレーでは、成功事例として日系企業をケーススタディで取り扱うことが多いため日本人学生として意見を多く求められる。たとえば、ソニーのビジネス戦略はどうであったか、ルイヴィトン日本ではどのようなイメージがあるか、日本人としての意見を出す機会は多かった。また、取り扱う企業が日系が多いため自然と興味の沸く内容となっている。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
The Business of AI		AIビジネス
科目設置学部・研究科	Haas	
履修期間	1/18~2/15	
単位数	1	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	対面(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に180分が5回	
担当教授	Matthew Stepka	
授業内容	AIには今後どのようなことが懸念されるか、ビジネスでの活用事例について学ぶ。機械学習などについても深く学ぶ。AIの脅威と利便性を同時に学ぶため深い知識を得ることができる。	
試験・課題など	毎週授業の内容を理解しているか確認するためのテストがある。課題は特にないが、授業自体のレベルが高いため予習と復習は欠かせない。また、期末には「AIを活用できるビジネスの提案」をチームでプレゼンする。	
感想を自由記入	機械学習について学ぶことが初めてだったため、授業の内容についていくことが難しかった。プレゼンについても、どのような方法で機械学習を活用してビジネスを展開するか具体的な案を出す必要があるため本プログラムの中でも一番挑戦的な授業ではないかと感じた。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Proseminar: Problems in Interpretation in the Several Fields of History: Comparative History (Japan, Germany, and the Modern World)		演習科目: 歴史学における複数の解釈の問題: 比較歴史が分析(日本、ドイツと現代世界)	
科目設置学部・研究科	History (歴史学)		
履修期間	1/20~5/5		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	少人数の対面(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に120分が15回		
担当教授	Jonathan Lear		
授業内容	日本とドイツがどのように第二次世界大戦に突入したか、各国の歴史を振り返りながら共通点を模索したり、相違点を探る授業である。日本の文明開化は改革であったのか? それとも国がファシズムに進むきっかけをある種つくってしまったのか? ドイツのファシズム体制は日本の天皇制ファシズムと同じなのか、異なるのか? さまざまな角度から2か国の戦争への経緯を吟味する。		
試験・課題など	発言回数と3回の個人エッセイ(2回は6-8ページ、期末は12ページほど)が評価に繋がる。毎授業、少なくとも2回以上は発言しなければ高い評価は得られない。そのため、毎授業の前に課せられた2冊ほどの課題本を読んでおくことが必要不可欠である。その上で、考えたことや気づきなどを自由に論ずる。		
感想を自由記入	Proseminar と記載されている通り、ゼミのように少人数制(12人ほど)でディスカッションを行う。私は、本プログラムのなかで一番楽しいと感じた授業である。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Climate Change and Business Strategy		気候変動とビジネス戦略	
科目設置学部・研究科	Haas		
履修期間	1/24~5/2		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	対面(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に180分が14回		
担当教授	Drew Isaacs		
授業内容	近年の温暖化をはじめとする気候変動をビジネスの観点から深く学ぶ。世界の温暖化の現状、そして企業がどのような対応策をとっているのか理解する授業である。		
試験・課題など	毎週の授業では、A4一枚程度のディスカッション質問に対する回答を提出する必要がある。また、その他にも授業内での発言や計3回のエッセイ提出が必要である。		
感想を自由記入	さまざまな企業の環境対策を学んだが、特に印象的だったのは最後のエッセイの課題である。最後のエッセイでは、「好きな企業を一つ選び、その企業の環境対策と実現可能性を論ずること」であった。そのため、期末テストでは、興味のある日系企業に関して徹底的に調べ上げ、その企業のIR情報や投資家への説明資料などを読み比べて吟味することが楽しかった。その他にも、授業の課題として課せられていたケース問題では、「ハンバーガーをレストランで食べるために排出される有毒ガスの量と家で作るために要するスーパーまでで排出されるガソリンの量」などの斬新な計算問題が課せられた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Data Science Applications for Finance		金融領域におけるデータサイエンス応用学	
科目設置学部・研究科	Haas		
履修期間	1/24~5/2		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	対面(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 120 分が 14 回		
担当教授	Donatella Taurasi		
授業内容	科目名そのままである。金融業界がデータサイエンスをどのように活用しており、今後どのように導入すれば効率化することができるか考える授業である。Python の前提知識は一切必要ないとシラバスには書いてあるが、実際は前提知識がないとついていくことが難しい。		
試験・課題など	定期的にプログラミング知識が必要である計算問題などを課題として課せられる。期末の最後には、チームで実際のビジネスにおけるデータサイエンスの導入例を提案してプレゼンする。		
感想を自由記入	プログラミングの前提知識がないと難しい。予習と復習を入念に行えば、授業についていくことは可能であるが、いずれにせよ挑戦的な授業である。日ごろからデータサイエンスなどに触れていれば興味深い内容であると思う。		



履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Financial Information Analysis	会計情報の分析学・財務情報分析
科目設置学部・研究科	Haas(正規学部生と同じ方)
履修期間	8/25~12/10
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に270分が14回
担当教授	Francis V Stanton
授業内容	本格的にUSCPAに向けた準備講座。IFRSとUSGAAPのちがいを学んだり、練習問題を通してとにかく資格取得に向けて準備する。週3回あるが、週2回はレクチャースタイル、週1回には教授の助手による補講が行われる。
試験・課題など	中間テストと期末テストの計2回が対面で行われる。授業内で習った練習問題などからテストが出されるため、入念に勉強して分からない部分をなくす必要がある。また、定期的に課題が出されて単語や計算方法を覚える必要があるため膨大な勉強量が必要であった。
感想を自由記入	企業分析のつもりで履修してしまったが、米国公認会計士を目指す通常の会計学の授業であった。途中までしか会計学を学んだ経験がないため、英語でUSCPAの準備講座を履修することは難しく、大変チャレンジングな授業であった。その代わりに、USCPAを目指す学生には積極的に履修の有効性を提唱したい。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記2以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など
・ウェブサイト(キャリアス就活、外資就活、ワンキャリア) ・書籍 (東大生が書いたケース問題ノート、ディスカッションノート、フェルミ推定ノートの計3冊) ・機関 (キャリアス就活が主催するキャリアフォーラムに参加)
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
まだ就職先を決めてはいませんが、金融業界かメーカー業界に就職しようと考えている。他にも、内定は約10社からいただいたが業界や職種等はバラバラである。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
就活は早く始めるに越したことはありません。私は、留学終了直前の4月から焦って就活を始めて2~3か月で終わらせました。しかし、遅く始めたためエントリー企業が非常に限定されており2次/3次締め切り期限や夏季選考にエントリーして周りのレベルが高かったです。遅くエントリーしてしまうと受験者のレベルの高さと超有名企業と採用枠の縮小がリスクです。3年生から留学し、4年間で大学を卒業したい学生はボストンキャリアフォーラム等への参加や夏インターンへの参加、または就活に早くから取り組んだ方が良いと思います。あとあと、外資系企業の募集期間が終わっていたり、日系企業でも受かりづらい状況に陥ってしまいます。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
×
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。
×
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。
×

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

留学開始年の前年	1月～3月	TOEIC、IELTS、TOEFL 等の外国語資格スコア上げる
	4月～7月	同上
	8月～9月	同上
	10月～12月	出願、選考
留学開始年	1月～3月	明治大学授業の履修登録、宿舍の手続き
	4月～7月	留学先から正式に入学許可→VISA 取得、宿舍や航空券の手配
	8月～9月	荷造り、留学先授業の履修登録、SIMカード契約、渡航
	10月～12月	期末テスト、冬休みは旅行
留学/帰国年	1月～3月	中間テスト
	4月～7月	就活開始と期末テスト、帰国
	8月～9月	×
	10月～12月	×

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

新型コロナウイルスの影響で、1年間留学をやむを得ず遅らせた人も多くいると思います。私自身も、大学2年の秋学期にバークレーへの留学が決定していたにも関わらず、オンラインの選択肢しかなかったため、1年間遅らせて大学3年の秋学期からの留学を決意しました。そのため、就職活動の不安も抱えながらインターンに1社も参加せず、5年で卒業する覚悟で留学をしました。しかし、留学の終盤で他の学生からの多大な刺激を受けて、全力で頑張れば留学を全力で楽しみながら就活を2か月ほどで終えました。このことは、留学を1年間終えて「物事の見え方や自分を理解すること」ができたため、通常「自己分析」や「ガクチカ」と呼ばれるものを準備せずとも、思ったことを面接の場で伝えられたからだと考えています。それほど、留学に行くことは、多様な価値観を享受したり、視野を大きく広げたり、これまでの固定観念も覆します。多様な国籍の学生と交流するだけでなく、色んなバックグラウンドを持つ人々と接するため、考え方の変容と人格の形成にも影響を及ぼします。

私は、留学を経験することには、2つの意義があると感じています。一つ目は、上記の述べた通り「他国を理解して多様な価値観を身に付けること」です。しかし、もう一つは、「日本を俯瞰的にみる事」です。たとえば、日本の文化の良さ、他国からみた日本の政治、変えた方が良い部分などを知ることができます。このようなことを意識しながら、貪欲に学習すれば、「将来どのような人間になりたいか」明確なビジョンを持ち、確実に実現していけるように思います。より多くの人と交流し、ゆっくりでも自分の思いを伝えることができれば、非常に有意義な経験になると思います。

全力で突っ走って、最高に楽しい経験をしてきてください。応援してます！